



せいひ会だより

2014年(平成26年)
3月1日発行
<第167号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



鬼は～外!
福は～内!



今年の恵方は
東北東!

季節の分かれ目を意味する節分。

地元の口上を読み上げることから始まった、グループホームの豆まき。鬼や福の神のお面も手作りです。恵方巻きもすっかり定着し、最近では節分の日に豆をまくよりも恵方巻きを食べる方が多いそうです・・・が、利用者の皆さんはどちらもしっかり楽しみました。

2月の行事

- 03日 豆まき(GH・通所・風和・寿限無)
- 10日 陶芸教室(通所)
- 16日 歌の発表会(風和)
- 17日 誕生会(元亀・通所)
- 21日 運営推進会議(GH)



3月の行事予定

- 03日 ひなまつり(GH・風和・寿限無)
- 04日 消防総合訓練(寿限無)
- 10日 陶芸教室(通所)
- 17日 誕生会(元亀・通所)



☆2月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



今回は風和の里：嶋田ト工様にお話を伺いました。

西彼町平原に6人兄弟の長女として生まれる。白似田小学校で6年、亀岳の高等科で2年、普通科で2年勉強に励まれた。

その後、長崎市豊後町(現在の長崎市桜町付近)にあった、県の総務部長官舎で「家庭見習い」として住み込み、6～7人の見習いの人達と一緒に働いた。仕事の先輩が、黒板にその日の仕事と担当を記入するので、それに従って仕事をしていた。休みをもらうときは、前日までに申し込みが必要だったそう。官舎には子供が16人いたため、その子供の世話も仕事の一つだった。「田舎育ちだったから、子供を呼ぶときは『〇〇ちゃん』と呼んでいたけど、仕事先の家では『〇〇さま』と呼びなさいと、先輩から教えられたときはびっくりしました。」と話されていた。1年半働いた後、伊良林にあった会社社長の家でもお手伝いとして1年位働く。

その後は実家の平原へ戻り、家の農業を手伝いながら、暇がある時は和裁を習いに行っていた。

22～23歳頃に6歳年上の御主人と結婚、4人の子供に恵まれる。戦時中で御主人は出兵されたため、嫁ぎ先の西彼町白崎にてお姑さんや御主人の妹達と、ミカンを主として馬鈴薯やキャベツを作り生計を立てていた。「戦時中は麦や米も不足していて、町の人が田舎に来て、物々交換をしていました。先のことはわからなかったから、その日その日を生きていましたよ。」と話される。戦争も終わり、生活も落ち着いた後は、畑も子供たちに代替わりした。息子さん達が働いている間は、お孫さんをおんぶして家事をしていたそう。「知らない土地で働くことも、今思えばいい勉強でした。今も、何でも勉強と思って生活しています。」と、昔を懐かしみつつ今の生活も楽しんでいる言葉が聞かれた。

お誕生日おめでとうございます。

Vitality Space

バイタリティー・スペース

うたの時間

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動には、このバイタリティーの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

暖冬と
人は言うけど
手は冷える
(風和) 中島マツ

孫守りし
畑を作った
働いたサダの姿を
思い出す
(風和) 本本誠一

おひなさま
甘酒ひしもち桃の花
二人並んで
微笑んでる
(風和) 立石ミドリ

鬼去りて
庭の白梅目に眩し
春告げ鳥も飛び交うて
紅桃ふくらみ 本春近し
(通所) 竹下晶子

春の風
幼き頃の
母の手や
(風和) 作中和子

春雨
伊藤イツ

元亀 伊藤イツ

しろ
三岳志志

元亀 三岳志志

うめ
山口マ

風和 山口マ

水仙
山脇カナ

風和 山脇カナ

決意
高松恵美子

じゅげむ 高松恵美子

うま
内山末子

じゅげむ 内山末子

基礎訓練

2/25、元亀の里において応急手当などを学ぶ、基礎訓練を行いました。今回は佐世保市東消防署せいひ出張所の方を講師としてお招きし、救急車到着までの準備や心肺蘇生法等の説明を受けた後、3人一組のグループに分かれて実践。緊急時に現場で活躍されている方から、直に講習を受けることができ、職員からも「勉強になった」「手順が確認できたので急変があった時も活用できる」との感想が聞かれました。講習の内容が緊急時に活かせるよう努めていきます。消防署の方々、ご協力ありがとうございました。



畑づくり



2/23、グループホーム翠風横の畑がジャガイモ畑に変わりました。鍬できれいに「畝」を作り、そこへ種イモを植え付け。これから収穫まで、皆さんの愛情がこもったお世話によって、大きなジャガイモができること、間違いなし!

零

いろんな鬼や福の神が現れた、各事業所の豆まき。勢いよくまかれたのは豆だけでなく、甘納豆やチョコレートも飛んでいたようです。



陶芸教室



毎月通所で行われている陶芸教室に、今月は元亀の里やグループホームの方々も参加されました。「書けるかな〜?」と話す方々、ひとたび筆を握るとさりと書かれる方も。世界に一つだけの作品、出来上がりが楽しみです。



インフルエンザ等の感染予防について

県内ではインフルエンザ流行が続いている状況です。せいひ会各事業所でも、施設来苑時の手指消毒やマスク着用とともに、面会場所の制限等で感染症対策を実施中です。どうぞご理解とご協力をよろしくお願い致します。

元亀の里・リハビリ室では、作業療法の一環として「手さげ袋」作りを行う予定です。そのため、現在、材料である日本手ぬぐいを集めております。ご家庭で使用していないものがございましたら、各施設の窓口までお持ちください。宜しくお願い致します。



オヤジ 敏美の独り言

〈熟年パワー炸裂!〉



今回の冬季五輪は御存じのとおり、スキージャンプで40歳越えの葛西選手が見事にメダルを獲得。スノーボード女子パラレル大回転では30歳超えの竹内選手がメダル獲得。どちらも銀メダルではありましたが、本当にあと一歩で金メダルに届く活躍を見せてくれました。葛西選手にあっては諸外国から「レジェンド」とまで呼ばれています。この熟年二人がなぜここまでの活躍を見せることができたのでしょうか? 体力はもちろん若い選手

には劣るのかもしれませんが、しかし、人知れず努力を重ね、効率的な練習と経験でここまで来たのでしょう。葛西選手に至っては、「体力」も若い選手には負けていないとのこと。さすが「超一流」だと感動します。自分も結果はどうあれ、もう熟年。これからも、自分らしく高齢者福祉と真正面から向き合おうと決意した今月でした。(若いもんには負けんぞ〜!!)